

# 下野市市民農園だより (第85号)

令和5年 11月27日  
発行 市民農園利用者の会  
会長 加藤 好雄  
後援 下野市農業公社  
電話 32-8951  
編集 渋谷(事務局)

## 市民農園まつりのご報告

11月4日(土)市民農園まつりが開催され、好天の中400名を超えるご来場があり、盛況のうちに終えることができました。利用者の会からは、我々が栽培した野菜を提供し、まつりの企画(大抽選会、野菜の無料配布)に参画しました。



大抽選会の景品はプレミア感漂うお品(いちごパック、ジャムの詰め合わせ、お米3kgなど)がある中、当会からは葉付き大根8本(当日朝採りのからの選抜品)、里芋/にんじん/ごぼう(選抜品)詰め合わせ6セットをリボン付きで提供しました。司会者さん(なんと当会の会員(名調子でした))のトークもかりて、他にもないこの農園で収穫されたという価値(?)をアピールし、大いに盛り上がりました。



大抽選会の様子、陳列された景品



やはり存在感は随一、葉付き大根



また、野菜の無料配布は、従来の芋煮に代わり当会の企画として行いました。“芋煮野菜詰め合わせ”と称して里芋/にんじん/ゴボウ70セット、細ネギ/赤ネギ、葉付き大根約60本を提供、長蛇の列を一気にさばきりました。野菜高騰の折、それなりに喜んでいただけたと信じます。

これらを通して農園まつりの趣旨に応えることができたのではないかと考えております。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



朝もやの中の大根収穫、景品向けはどれにしようか



「じゃんけんに勝った方は受け取れます」「えっ!?!」

## 野菜栽培の経緯

	23年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
里芋		●1日種芋掘出し 芽出し	●6日種芋植付け	▲除草	▲除草 ▼水撒き	23日土寄せ ▼水 ▼水	▲除草、11日追肥 ▼水▼水 ▼水▼水	▲除草	■29日収穫	
ねぎ (分けつ)				●10日植付け	▲除草		▲除草	▲除草、 追肥、耕起	■4日収穫	
ごぼう		18日 トラクター耕耘 (公社エリアと同時)	●15日播種 (2022)		●24日播種	22日追い蒔き ▼水		▲除草	▲除草	■29日収穫
にんじん				●24日播種	●3日播種(2022) ▼水	間引き	▲除草		■29日収穫	
大根				▲除草	▲除草			▲除草	●3日播種 24日間引き	■4日収穫

- **里芋種芋**：昨年度栽培物から種芋用に土中保存されたものを4月に掘りあげ、芽出しをして植え付けた（芽出しは、軽く土をかけビニールで覆い約4週間。やや徒長気味であった）。
- **ねぎ苗**：会員から提供いただいた苗と市販赤ネギを使用した。
- **ごぼう・にんじん・大根の種子**：市販種子を購入し使用した。



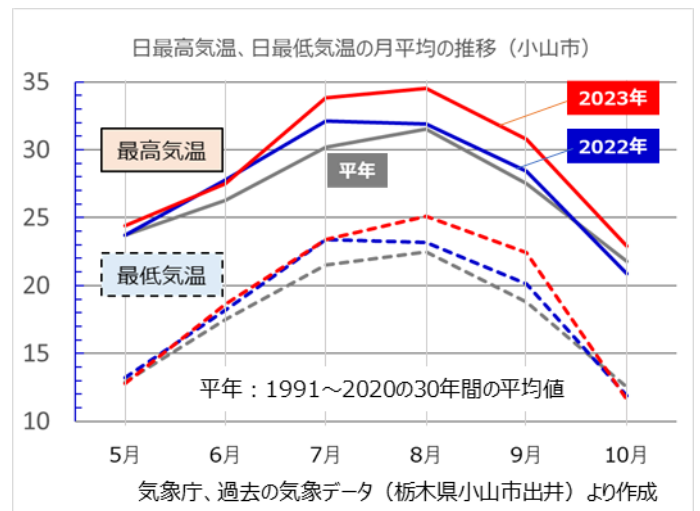
## 野菜栽培反省点について

(栽培の参考にして頂ければ幸いです)

- **ごぼう、にんじん**：サラダごぼうは昨年より播種を約1か月遅らせ、にんじんは10日早めたが収穫物は未だB~C級品レベルであった。にんじんは間引きが不十分で、これをやるやらないで全く別物になる、とのこと。
- **ねぎ**：夏を乗り越えてから生き返った。追肥と周辺耕起（鍬入れ）が効き、まあまあの出来。
- **里芋**：酷暑とアブラムシに負けてしまった感があり、昨年より小粒で、数も8割程度であった。
- **大根**：虫の攻撃に耐え、まあまあの成長であった。10月末が収穫適期だったか。

## 今年の猛暑と今後について

アメダス観測点が小山市出井にあり、そのデータは我々の農園のデータとほぼ同等と考えられます。毎日の最高気温、最低気温を月毎に平均したデータをグラフ化したものが右図です。今年は7、8、9月**3か月連続で平年より2度以上高い**最高気温、最低気温であったことが判ります（グラフなんぞなくても身に染みて体験したのですが）。その後10、11月は平年に近づいてきたかな、と感じますが、ヨトウムシなどの被害は例年以上だそうです。



長期予報によると今後は「暖冬、気温高め」とのこと。夏の高温の帳尻合わせで寒くなるはず、という素人予報もありますが、冬野菜や越冬野菜への対策は順調でしょうか。

お気づきの点、ご提案などありましたら、お気軽にお声がけください。

